
世界の独白

鎌堂成久

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界の独白

【Nコード】

N2846D

【作者名】

鎌堂成久

【あらすじ】

タイトルどおり、世界の独白。それが本意とは限らないものの。

まーるい、おーきな建物があるんです。

ちようど、私に似てるんですけどね。

でも、ちっさすぎて私の手で壊してもそうは困らないものなのでしょう。

しかくい、おーきな建物があるんです。

ちようど、私のつくった人たちが完成させたところです。

でも、かたくて私は厭だから壊してしまいそうです。

まあ、これまでこんなものがなかったから困らないものなのでしょう。

とはいえ、私は何者なんでしょう？

自分でもよく分からないのです。

私の心の中で、人々は叫ぶし、笑うし、怒るし。

なんか、楽しくないんです。

あ、ほら。

むこうにはとさかの生えた少年が、夜の街の暗がりへと身を投げてしまいました。

私はあの子のことが心配になります。

でも、私は壊すことだけしかワカラナイらしく、あの子を助けることなんて出来ません。

そうすると、みんな、神様が怒っただなんて言うから、下手には行動できないのです。

あ、彼女はまた一人ぼっちだ。

この頃、彼氏にフラれてからは、友達と遊ぶこともないみたいで、ずうつと残業で会社に残りっぱなしです。

寂しそう。

彼女の傍にいるのに、ずっと彼女は寂しそうです。

私は、本当にできることはないのかもしれませんが。

私の声は、今あなたにきこえているのでしょうか。

……まさかですね。

私は、ヒトじゃないのですから、無理ですよ。

ああ、あのときはヤンチャだった彼が久しぶりに顔を覗かせました。

この頃、ずっと家にこもりつきりなのですね。

一体どうしたのでしょうか。

人間というのは、一体なぜこんなにも独りきりになるのでしょうか。

寂しい。

私はいつもあなたに囲まれているのに、私がいつも傍にいることに、あなたは気付かないのです。

まあ、仕方のないことなので放っておくしかありませんが。でも、いつもそつと耳を済ませて。

私の声が、あなたの心から聴こえるかも、しれませんから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2846d/>

世界の独白

2010年11月5日07時22分発行